

象牙質知覚過敏・Tooth Wear と、ブラキシズム・矯正用マウスピース・リテーナーを含む口腔内装置のケアについて

近年、う蝕と歯周病の予防は急速に充実してきましたが、日常生活の中では、知覚過敏や Tooth Wear により、問題を生じることがあります。Tooth Wear は、特に歯頸部、咬合面、切縁部などに生じやすく、その多くは生活習慣に関連した長期的な経過によって発生します。そのため、症状や原因を理解して、日常生活における予防対策を行うことが重要となります。また、エナメル質が消失して象牙質が露出することで、知覚過敏を伴うことがあります。このような知覚過敏を予防するためにも、リスク評価と適切な対処が必要になります。本セミナーでは、象牙質知覚過敏と Tooth Wear に関連する情報に合わせ、ホームケアでの対処法についてご説明いたします。

続きまして2つめのテーマ、近年日本ではコンタクトスポーツなどでの外傷を防止するためにスポーツマウスガードの使用が推奨され、その使用者は約 90 万人*に上ります。また、睡眠時のブラキシズムや顎関節機能障害を管理するための口腔内装置の使用者は約 700 万人*、矯正用マウスピース やリテーナーの使用者は約 620 万人*となり、約 1400 万人*がデンチャー以外の口腔内装置 を使用しております。

口腔内装置の使用者人口は増加傾向にありますが、デンチャーに比べて洗浄剤使用率は低く、多くの方は自らの口腔内装置を清掃する日常的な方法を持ち合わせておりません。また、交換頻度が早い矯正用マウスピースですが、その装着は1日の大半を占めるため、清潔に保つ必要があります。口腔内装置のケアに対する使用者の意識や実態、また適切な洗浄方法について口腔内装置で使用される素材に幅広く適した「デンタルラボ マウスピース・矯正用リテーナー洗浄剤」の使用方法を交えながら、ご紹介いたします。

*弊社調べ 2021

グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社
エキスパートセールス
鈴木 栄里子